

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392400129		
法人名	医療法人 宏友会		
事業所名	グループホーム乙川		
所在地	愛知県半田市飯森町53-1		
自己評価作成日	平成25年1月21日	評価結果市町村受理日	平成25年5月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.kajigokensaku_ip/23/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JizvosyoCd=2392400129_00&PrefCd=23&Version
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	名古屋市東区百人町26 スクエア百人町1F		
訪問調査日	平成25年2月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平屋建てであり、リビングを南側に集中させ、広々としたリビングがあり、各利用者様に合わせて、生活上での残存機能の維持、向上が図れるようにしている。
開所して以来、食事を3食を施設内で作り、提供しており、利用者様に準備の手伝いをお願いして、これまでの培ってこられた力が少しでも発揮できるようにしている。食事のみならず、食器拭き等の片づけや掃除、洗濯物干しなどの家事についても積極的にお手伝いして頂いている。
隣が医療機関であり、その医師による訪問診療が受けられ、常に連携を図り、スムーズな医療が受けられるようにしている。歯科についても提携歯科医療機関より歯科検診や訪問診療、送迎付きの受診とその方々に合わせた対応をしている。また、当法人の医療機関によりリハビリを必要な方また

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域との交流は、日々の散歩で住民と言葉を交わしたり、問い合わせに丁寧に応えるよう心掛けている。また、不定期ではあるが地域のボランティアの日舞の会の訪問があり、利用者の楽しみになっている。職員の育成に力を注ぎ、充実した内容の法人研修があり、各種の資格取得を奨励する等の支援体制が確立され、職員のやる気を促すとともに、サービスの向上に役立っている。医療法人であり、医療面での連携・協力体制が構築され、利用者・家族の希望に沿った支援が可能である。今後、終末期の支援に向けた職員研修に力を入れたいと考えている。初めての自己評価をパート職員を含む全職員で、管理者の指導の下に取り組み、一年間の総括と常務内容の確認を行い、活動の目標である「利用者第一の支援」ができたことと管理者は感じている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 ・朝の申し送り後に復唱をしている。 ・皆で協力しあう事で、実践するよう努めた。 ・目標を1つにし、お互い協力し合っている。 		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な関わりは難しく出来ていない ・周囲に住宅がなく繋がりをもちづらい ・運営推進会議で地域の人と交流をしている。 ・管理者に任せている。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていないと思う ・地域貢献までは行かないがご家族への情報提供は行っている。 		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に関き意見交換を行っている。 		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加されている。 ・管理者が取り組んでいる。 		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関、裏口は施錠されている ・離設の可能性のある利用者様には見守りを行っている。 ・身体拘束はしないようにしており、職員で話し合い、理解している。 ・判断が難しい時は、管理者に指示を仰いでいる。 ・居室の窓が全開にならないように一部してある。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・常に身体状態の確認をしている。 ・傷や内出血を発見したら、記録に残している。 ・利用者様の身体的変化は常に申し送りの際、報告連絡を行い、原因等について話し合うようにしている。 ・入浴時等にチェックするようにしている。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・法人研修により学ぶ機会がある。 ・利用者様やご家族の意見に応じた対応をしている。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が行っている ・理解、納得が得られるようにしている 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会や運営推進会議等で、ご家族の要望を聞き、運営に活かしている。 ・利用者様やご家族に意見が聞くことができる ・要望等を伺った際には、日誌等に記録し、周知を図っている ・運営推進会議で質問等の時間を設けている。 		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度のミーティングで意見交換を図っている 		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者は、職員の事を常に考えてくれると思う。 ・面談等において、職員各自の意見を聞いてもらっている。 ・職員個々の環境については理解していない ・個々の休暇の希望が反映されている。 ・休暇や業務体制等の希望が反映されている。 		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に一度法人研修を行っている。 ・情報提供は受けており、研修内容のプリントの配布を受けている ・法人外の研修を受けたい ・代表者は人を見る目はあると思う 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人研修だけでなく、資格取得に向けてもっと勉強会を開いてほしい ・会議を通じた交流が来ていると思う ・研修の際には、交流が持てる 		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを取りスタッフに対して本音を言える環境に努めている。 ・利用者様が要望や不安などを話せるようにコミュニケーションを取っている。 ・ご家族との意見交換をしている。 		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り努めている。 ・来所の折には、積極的に尋ねるようにしている。 ・的確なアセスメントを行い、安心できる環境づくりに努めている。 ・不安や疑問に対してきちんと対応するように心掛けている。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをとることで、見えてきている。 ・要望に沿った支援を心がけている。 		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に追われて、流れ作業になってしまう事もある。 ・上から目線で物事を言わないようにしたい。 ・出来ることは、ご自分で行ってもらい、困っていることは介助を行うようにしている。 ・利用者様毎に合わせた支援を行っている。 ・おやつ作りやカラオケ、家事などをお願いしている。 ・常に共同生活を念頭に置き、暮らしを共にする関係を築いている。 		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・来所の際には、近況や要望など情報交換を行っている。 ・来所されやすい雰囲気作りに努めている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・行事やレクリエーション等で馴染みの事をしたり、出かけたり、ご家族や知人の方たちとの交流も忘れずに支援している。 ・ご家族の協力がないとなかなか難しいと思う。 ・来所されやすい雰囲気をお大切に、感謝の気持ちを持って接している。 		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく過ごせるようなレクリエーションを考慮したい。 ・お手伝いなどを一緒に行っている。 ・利用者様の様子を見ながら席の配慮し、利用者様同士が、お話しできるようにしている。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・その時になってみないとわからない ・管理者に任せている。 		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様との会話の中などで、希望を検討している。 ・ご家族や利用者様から聞き取ることで把握している。 ・日々違う利用者様の言葉や変化から思いや意向を探り出している。 ・理念のようにあれるよう努めている。 ・季節に沿った行事を行う。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を読み込んだり、利用者様やご家族からお聞きし、把握するようにしている。 ・馴染みのあるものを持ってきていただけるようにしている。 ・アセスメントやスタッフ間の情報交換で把握している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の状態変化に異常がないか注意をするようにしている。 ・異常があれば、管理者に連絡している。 ・職員間で申し送りなどを通し現状把握に努める ・カルテ等にその日の記録し、現状把握ができるようになっている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に即した介護計画がされており、利用者様に合った生活をしていけるように支援している。 ・管理者が行っている。 ・アセスメントやスタッフの意見を基に介護計画を作成している。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・記録や申し送りにて情報収集している。 ・情報を共有し、話し合っている。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や精神状態に応じ、その時々合った支援を行えるように努めている。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者に任せている。 ・ボランティア等を取り入れると良いと思う。 ・地域の中で安心して楽しく過ごせるように努めている。 		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援し	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで通院していた病院に行き、ご家族協力の下支援できている。 ・月に2度の訪問診療を行っている。 		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護と連携している。 ・隣接するクリニックと常に連絡が取れる。 ・管理者より情報提供にて行っている。 ・変化があった際は、管理者に相談し、看護師との連携を図ることができる。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院と常に情報交換や相談を行い、連携し関係作りをしている。 ・管理者が行っている。 ・法人内に入院できるクリニックがある。 		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が行っている。 ・事前にご家族の意向を伺っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで急変時の対応の指導があった。 ・何か起きた時でもその都度、対応の仕方の指導がある。 ・今後、実践力を身に付けたい。 ・職員間、管理者の協力で、訓練や書面の配布を受けている。 ・外部の救急法などの研修も参加している。 		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・ミーティング等にて勉強、報告、話し合いを行っている。 		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合った対応ができるように支援している。 ・言葉遣いに気をつけている ・敬語での対応、その方のペースに合わせた対応をしている。 ・言葉かけに注意するようになった。 ・常に申し送りの際には、言葉遣いなどの指導を受けている。 ・接遇の勉強会も開かれている。 ・相手を尊重することから言葉遣いに気を配っている。 ・トイレ誘導や入浴時等には特に対応に配慮している。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り利用者様の要望を聞くようにしているが、全てまではいかない ・なるべく、時間を見て利用者様と一対一でお話する機会を作り意向を伺うようにしている。 ・うまく言葉で表せれない人は、表情や行動などで気持ちを汲みとるようにしている。 ・自己決定できるように支援している。 ・可能な限り自己決定を優先している。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のペースに合わせた支援ができるように努めている。 ・職員の都合が優先されてしまうこともある。 ・利用者様のサインを見逃さないようにしている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの際には、ご本人に選んでいただいているが、職員が選んで持って行く場合もある。 ・可能な限り利用者様にさせていただいている。 ・起床時に髪を整えるようにしている。 		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や片づけを手伝ってもらっている。 ・利用者様のペースでゆっくりと食事をする事ができている。 ・昼食時には、職員と共に食べている。 		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量や水分量のチェックをしている。 ・摂取量が少ない方への工夫介助をしている。 ・食べやすいように工夫している。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・良後には必ず口腔ケアを行っていたり、声掛けをしている。 ・ご自分でできない方は、介助を行っている。 ・チェック表へも記載し、把握に努めている。 ・夜間には洗浄もしている。 		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に声掛けをし状態に合わせた介助をしている。 ・ご自分でされる方については、見守りをさせてもらっている。 ・失禁に繋がらないようにしている。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘にならないように食べ物や運動等で予防をしている。 ・毎朝ラジオ体操を行っている。 ・食後、トイレにゆっくり座っていただいている。 ・必要により便秘薬も使用している。 ・水分量にも注意している。 ・腹圧をかけるためにマッサージをしたり、乳製品の提供をしている。 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り、2日に1度ペースで入浴していただくようにお声掛けをしている。 ・利用者様が入りたがらない時は無理強いをせずに対応している。 ・体調に合わせて、入浴していただいている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々に応じた、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・体調に合わせて、休息していただいている。 ・利用者様の好きな時間に就寝していただいている。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬した際は、チェック表に記入している。 ・薬の確認は慎重に行っている。 ・薬剤情報に目を通し、変更は申し送り確認している。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物等で気分転換を行っている。 ・無理のない範囲で、お手伝いをお願いしている。 ・家事など得意なことをお願いしている。 ・レクリエーション等を通じて、気分転換を図っている。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度の行事で外出する機会を作っている。 ・利用者様の好きなことを聞いている。 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が管理している。 ・利用者様管理の方は、外出時に自由に買い物をしている。 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者に確認してから支援をしている。 ・最初に職員がお話しさせていただいてから、電話に出ている。 ・子棒があれば、代行等支援している。 ・手紙のやり取りがされていない。 		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を取り入れた飾り付けなどはしている。 ・カーテンや空調を使用している ・湿度、室温管理している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う方同士となれるよう考慮している。 ・テレビ前のソファなど一人ひとりご自由に過ごせる空間を作っている。 		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自宅で使用されていたものを持ちこまれている方もいる。 ・ご自分で作ったもの、書いたものを飾っている。 ・居室には、ご家族の写真を飾っている方もいる。 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒、トラブル防止のため利用者様の様子に気を配っている。 ・各居室の前に名前入りの写真をトイレの前はトイレの表示をしている。 		